

お知らせ 「健康経営優良法人2026」認定法人が発表されました！

令和8年3月9日、「健康経営優良法人2026」認定法人が発表されました。
北九州市内の認定法人は以下のとおりです。

	北九州市	県内
大規模法人部門【ホワイト500】	2	11
大規模法人部門【ホワイト500除く】	13	93
中小規模法人部門【ブライト500】	3	12
中小規模法人部門【ネクストブライト1000】	9	29
中小規模法人部門 ※ブライト500、ネクストブライト1000除く	97	546

また、認定の申請要件である「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」の登録数も、令和8年3月末時点で**1,624事業所**(前年度末:1,559事業所)と着実に増加しています。

本市では、今後も制度の普及啓発に努め、宣言事業所の登録および健康経営優良法人のさらなる増加を目指して取り組んでまいります。

お願い 各種啓発資材をご活用ください！

市では、働く世代の健康をサポートするため、各種啓発資材を作成しています。「健康経営を始めたい」「検診を勧めたい」といった際にご利用いただけるよう無償で提供していますので、セミナーや団体の集まりなどでぜひお役立てください。

啓発資材一覧

リーフレット、チラシ等



「健康経営」啓発
①リーフレット
②チラシ



検診ガイド
リーフレット



「はたらく×生理」
ハンドブック



ステッカー



「健康経営」推進ステッカー



「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」
登録事業所用ステッカー
(登録事業所へ配布)

啓発、研修用動画



健康経営啓発動画(各15秒)

①



②



③



「はたらく×生理」プロジェクト

研修用動画
(15分)



啓発用動画
(15秒)



北九州市からのお知らせ 心のサポーターになりませんか？

「心のサポーター」とは、メンタルヘルスへの正しい知識と理解に基づき、家族や同僚などの身近な人の心の不調に気づき、悩みを聞くなどのサポートができる人のことです。

受講にあたって特別な資格は不要です。養成研修を受けることで「心のサポーター」として認定されます。

手をとめて、相手の方へ体を向ける。
そんな、ちょっとしたコツを聞いてみませんか。



働く世代が安心できる職場づくりは、企業の成長を支える大切な取組です。

北九州市では、企業・団体での開催を推進するため、講師派遣等を行っていますので、お気軽に下記までお問い合わせください。

※開催日や参加人数によってはご希望に添えないこともございます。

問合せ先 北九州市精神保健・地域移行推進課(担当:黒木、中山) TEL:582-2439

本市の「はたらく×生理」プロジェクトがJCOM制作「ざQLASS」で紹介されました！

働く女性の生理の悩みなどに配慮した職場環境づくりを推進する、本市の「はたらく×生理」プロジェクトが、J:COM制作番組「ざQLASS」で紹介されました。

番組内では取り組みの内容が分かりやすく解説されています。ぜひご覧ください。



動画はコチラ



地域産業保健センター 活動内容 北九州西地域産業保健センター

地域産業保健センターでは労働者数50人未満の事業所を対象とした産業保健サービスを提供しています。

定期健康診断をはじめ特殊健康診断・有機溶剤健診の産業医による就業判定や長時間労働者面談等もしております。ストレスチェックの義務化が言われているところですが、高ストレス者の産業医による面談も行っています。(年2回無料)

福岡産業保健総合支援センターとも連携しており、メンタルヘルス対策や治療と仕事の両立支援、事業主に対する啓発セミナー等のサービスも利用できます。

労働者の健康管理
(メンタルヘルスを含む)



健康診断の結果についての
医師からの意見聴取



長時間労働者及びストレスチェックに
係る高ストレス者に対する面接指導



個別訪問による
産業保健活動への支援



詳細は福岡産業保健総合支援センターのホームページをご覧ください！

福岡産業保健総合支援センター

検索

企業の健康経営とウェルビーイングの推進を客観的なデータに基づき後押し

アクサ生命保険(株)

近年、人的資本経営が注目され「ウェルビーイング」に関心が高まる中、企業経営者の間には、従業員が自ら構想した人生の夢や目標を実現できるよう、健康や働きやすい職場作り、ワークエンゲージメントに気を配りパフォーマンスを高めていこうという動きが広がっています。しかし、これまで従業員一人ひとりのウェルビーイング、すなわち人的資本の主要な構成要素を包括的に測定し、企業全体のパフォーマンスとの関連性を定量的かつ実践的に示す指標はなく、包括的にウェルビーイングを測定する方法の確立が課題でした。

この課題に対し、東京大学とアクサ生命は共同研究を通じて、企業のウェルビーイングの度合いを数値化し、成熟度を定点観測できる「ウェルビーイングスコア」を開発しました。このスコアは、企業の人的資本を定量的に評価することを可能にし、その高低が企業の業績、人材の採用・定着、従業員の健康状態と密接に関係していることが大規模なデータ分析により実証されています。

本スコアの導入により、企業には自社の課題把握や健康経営の効果検証など、企業価値向上に向けた施策の更なる推進が期待されます。



「ウェルビーイングスコア」数値化までの流れ

アクサ生命の「健康習慣アンケート」(※1)を実施
→対象の従業員の皆さまがアンケートに回答
→人的資本「ウェルビーイング」を可視化したデータを作成し提供

※1 無料。約90問(生活習慣・体調から労働生産性、働きがい、生きがいなど)で構成。個人情報取得なし。
ウェルビーイングスコア数値化には一定以上の回答率が 必要となります。

スコアリング結果

「ウェルビーイングスコア」が高い企業では、従業員が働きやすい職場環境において、健康で生き生きと働き、健やかな生活を送っていると言えます。
※100点満点



*参考値は、2024年1月～2023年11月までに健康習慣アンケートを実施し、回答率70%以上の「製造業(従業員30人以上)」の企業68社(従業員数合計75,641人)のスコアの平均値です。

注) 前回・前々回については、2023年12月15日以前に実施した過去の健康習慣アンケートの回答率がある割合にスコアを割り当てています。

※このページは「今回」の回答率が70%以上の企業様にご提供します。

(図 スコアリング結果 サンプル)